

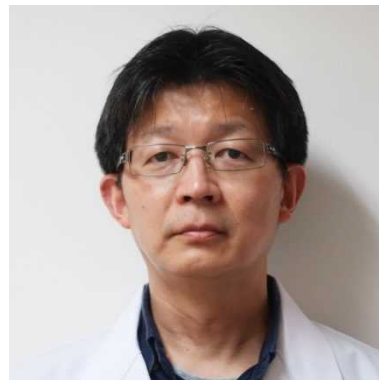


～着任のごあいさつ～

若草第一病院 副院長

消化器内科 消化器病センター長

岩田 恵典（いわた よしのり）



4月より若草第一病院に着任いたしました岩田 恵典と申します。

私は大阪で生まれ育った関西人で、平成8年に大阪市立大学医学部を卒業しました。その後は大阪市立大学医学部第3内科(消化器内科)に入局し、岸和田徳洲会病院で10年間、兵庫医科大学肝胆膵内科で14年間診療を行ってまいりました。

岸和田徳洲会病院では当初は救急疾患についての対応や治療を学び、その後は消化器内科全般についての研修を行いました。上部下部消化管内視鏡検査から、早期胃癌や早期大腸癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)に至るまで幅広く診療に携わってきました。兵庫医科大学へと異動した後は、胆膵グループのリーダーの役割を任せられましたので、ERCP関連手技や最近進歩の著しい超音波内視鏡(EUS)による診断や治療を数多く経験しております。特に最近増加傾向にある膵癌の早期発見に向けて、より低侵襲でかつ効果的な診療を提供できるように研究を重ねてまいりました。肝胆膵疾患を中心とした消化器癌に対する化学療法等も積極的に行ってまいりましたので、抗がん剤治療や緩和医療に対してもお役に立てればと考えております。

大学病院では肝胆膵内科という特性上、食道や胃の静脈瘤に対しても、多数の治療困難な患者様に対応してきましたので、緊急の消化管出血に対しても、積極的に地域の方々に貢献させて頂きたいと思っておりますので、難渋する症例やお困りな症例等がございましたら、気兼ねなくご紹介ください。

以前よりラグビーが好きで、花園ラグビー場のある東大阪には頻繁に訪れ、馴染みもあります。若草第一病院では、大学病院等で学んだ最新でより高度な治療を患者さんに提供し、安全かつ低侵襲な医療を受けて頂けるように努力していきますので、今後ともよろしく願います。